

【今週の注目疾患】

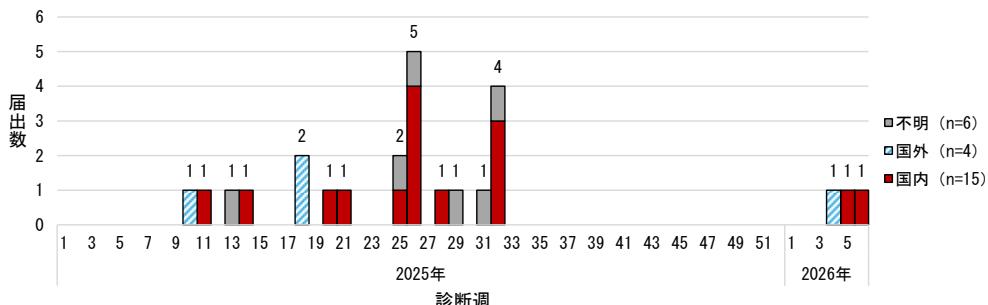
《麻しん（はしか）》

2026年第6週に県内医療機関から1例の届出があり、本年の累計は3例となった（図1）。この1例の年齢は40代で、麻しんワクチン接種歴は1回、推定感染地域は国内であった。

全国では2026年第5週に14例の届出があり、累計は23例となった¹⁾。

全国においても、海外からの輸入症例が増加している一方で、海外渡航歴のない症例も報告されていることから¹⁻²⁾、引き続き発生動向に注意が必要である。

図1:2025年から2026年第6週までの診断週別推定感染地域別県内麻しん届出数（n=25）



県民のみなさまへ³⁻⁴⁾

第6週と第7週に届出があり、他の人に麻しんを感染させてしまう可能性がある期間（感染可能期間）に、不特定多数の方が利用する公共交通機関等を利用していたことが判明したので、千葉県及び千葉市では注意喚起のために報道発表を行いました。これらの施設等と同じ時間帯に利用された方は、利用した日から21日以内（特に10日前後）は健康状態にご注意いただき、発熱・せき・鼻水・眼球結膜の充血・発しん等の症状がある場合は、事前に保健所に連絡の上、指示に従って医療機関を受診してください。受診の際は、周囲へ感染を広げないよう、マスクを着用し、公共交通機関等の利用を避けてください。

海外旅行等で流行地へ渡航される場合は、ご自身の過去の罹患歴や予防接種歴を確認し、必要な検査や事前に予防接種を受けることをご検討ください。また、海外への渡航がない場合でも、麻しんの定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は、早めに予防接種を受けましょう。

■参考・引用

- 1) 国立健康危機管理研究機構：麻疹 発生動向調査
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/index.html>
- 2) 厚生労働省：麻しんについて
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekakukansenshou/measles/index.html
- 3) 千葉県健康福祉部疾病対策課：麻しん（はしか）患者の発生について（令和8年2月6日）
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2025/260206measle.html>
- 4) 千葉市保健福祉局医療衛生部健康危機管理課：麻しん（はしか）の発生について
<https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/shichokoshitsu/hisho/hodo/documents/260210-2.pdf>

《インフルエンザ》

インフルエンザの予防のため、手洗いや咳エチケットの励行に努めましょう⁵⁾。

図2:千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数

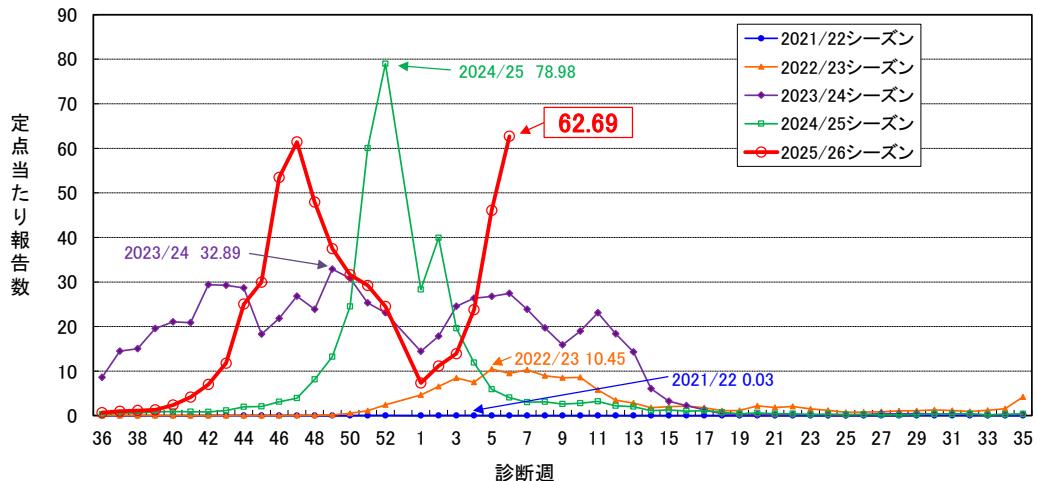
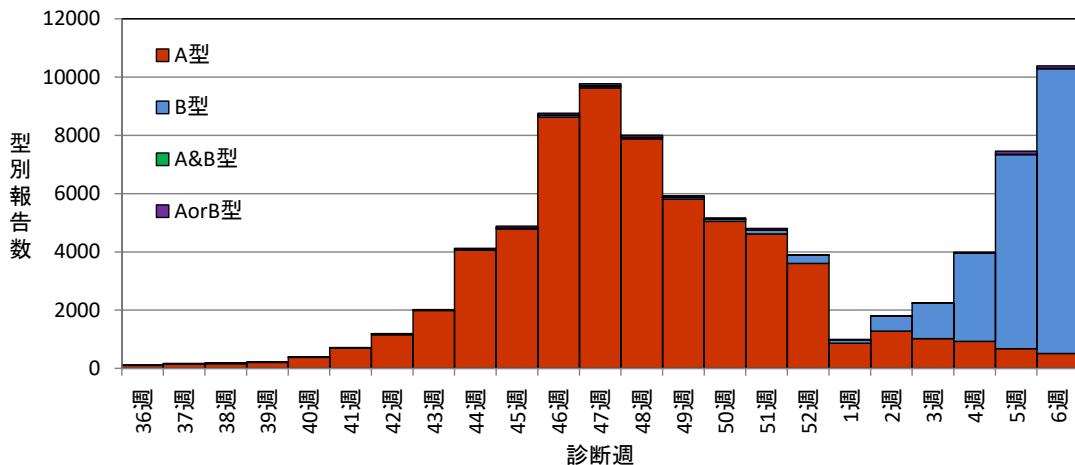


図3:2025/26シーズン千葉県におけるインフルエンザ型別迅速診断報告数



2026年第6週における定点当たり報告数は、62.69（人）となった（図2）。特に、海匝（95.33）、市原（86.00）、君津（84.58）保健所管内が多かった。報告数が増加し続けており、引き続き注意が必要である。

より重症な症例数の推移を反映する県内9か所の基幹定点医療機関からの入院患者報告数は、35例（前週31例）であった（うち10歳未満12例、10代9例、80歳以上6例）。

また、定点医療機関の任意の協力により集計している迅速診断の結果では、10,382例中9,774例(94.1%)がB型であった。2025/26シーズン（2025年第36週から2026年第35週までの期間）当初はA型が多かったが、2026年第3週にB型がA型を上回って以降、B型の占める割合が増加している（図3）。

■参考・引用

5)千葉県健康福祉部疾病対策課：インフルエンザから身を守ろう

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>